

ゲスト紹介

<セミナーA>



鎌田安里紗（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程在籍、モデル、エシカルファッションプランナー）

1992年、徳島県生まれ。高校在学時に雑誌『Ranzuki』でモデルデビュー。エシカルな取り組みに関心が高く、フェアトレード製品の制作やスタディ・ツアーの企画などを行っている。著者に『enjoy the little things』（宝島社）。慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師、環境省「森里川海プロジェクト」アンバサダー。



武田智生（湘南学園中学校1年、任意団体チョコプロ代表）

社会科の授業でアフリカで起きている児童労働の現状を学んだことがきっかけで任意団体「チョコプロ」を立ち上げる。参加者は同中学校の生徒30人ほどで6月から放課後に定期的にミーティングを重ね、学園祭では展示などを行った。



菅田悠介（慶應義塾大学環境情報学部4年、罾猟師）

大学1年の時にカモを解体したことから食料廃棄問題と狩猟に興味を持ち始める。鶏の解体ワークショップや食べ残しそうなものを持ち寄った料理会「モツタイナイト」をしたり、猟師と農家と出資者をつなぐ仕組み「罾オーナー制度」を小田原にて実施したりするなど、「食べる」ことについて考えてもらうきっかけ作りをしている。

<セミナーB>



マリエ (デザイナー)

1987年6月20日生まれ。東京都出身。フランス系カナダ人の父と日本人の母とのハーフ。モデルとしての活動を10歳頃からスタートし、その後「ViVi」の専属モデルやTVでのタレント活動など、多方面で活躍。2011年9月に単身渡米し、ファッション分野で著名な世界3大スクールのうち、NYにある名門「パーソンズ美術大学」へ留学。ファッションを専攻。数々のデザイナー達へのインタビューから影響を受け、アート・ファッション・カルチャーに深い関心を寄せるようになる。趣味は映画、音楽、ギャラリー巡り。J-WAVE「SEASONS」ナビゲーター(毎週土曜日 12:00~15:00 生放送)レギュラー出演中。現在は、自身で立ち上げたアパレルブランド「PASCAL MARIE DESMARAIS」のデザイナーも務める。